

未来の
日本を
創る

農業
担い人

THE FUTURE of
JAPAN CREATE

農

PROFILE

さとう ゆたか
佐藤 豊 さん

SATO YUTAKA

46歳

弥富市 五明



露地栽培は天候の影響を大きく受けます。鳥やモグラなどの被害もあるため、佐藤さんの圃場では全体をネットで覆っています。

大切なつぎます。
弥富市では昔からイチジクが栽培されていますが、近年では生産者も減少しており、産地としての復興が課題となっています。そういった中で佐藤さんは令和4年度からJAのコンテナ出荷の取り組みに参加しています。イチジクを収穫し、専用のコンテナで出荷をして、パック詰め作業はJAを通じて仲卸業者が行います。出荷規格も2階級のみを取り扱いにすることで作業時間が大きく短縮されました。「出荷を通じて生育や作業について職員に相談できるのも助かっています。これからも栽培を続けていくため、産地のブランドを高めていけるよう協力していきたいです」とメッセージをいただきました。

弥富市にある25アールの圃場でイチジクを栽培している佐藤さんは、出荷を始めて今年で15年目になります。「父がイチジクの木をもらったのが栽培を始めたきっかけです。はじめは家庭菜園の環境でしたが、収量が増えて市場などにも出すようになりました」。本業では建設の仕事に携わっている佐藤さんですが、出荷の時期は次々と突るイチジクの収穫作業に追われます。8月の初旬は朝の5時から8時頃まで収穫をしていますが、そこから数が増えていき、9月の中旬になると17時まで収穫をしても取り切れないくらいイチジクが実ります。夏場は気温が高く、収穫が一日ずれるとイチジクの品質が大きく変わってしまうため適期の見極めも

作業効率化でこれからも 続けていける農業を

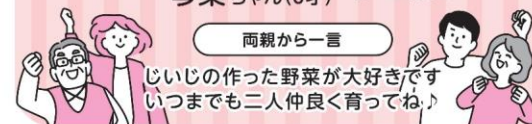


わが家の
アイドル

弥富管内
大島さん宅

いちか
大島 一夏 ちゃん(2才) 父 慎之助さん
ことほ
琴葉 ちゃん(0才) 母 三咲さん

両親から一言



じいじの作った野菜が大好きです
いつまでも二人仲良く育ててね♪

目次

- 02-03 生産者紹介/わが家のアイドル
- 04-05 特集 [台風や豪雨の“もしも”はJAに相談しよう]
- 06-07 News&Topics
- 08-09 チャレンジ家庭菜園/家庭菜園Q&A
- 10 地元農産物のポイント交換会
あじき先生の地産地消レシピ教室
- 11 チャレンジクイズ/まめにやってりゃーすか
お便り紹介
- 12-13 海南病院だより
- 14-15 おしらせ
- 16 自己改革/営農ミニ情報